

03

TAKADA KENCHIKU JIMUSHO

長岡市 鈴木邸 | 木造軸組工法 | 工期120日 | フリープラン

ガルバリウム鋼の箱が浮いているような外観。

トンネルを抜ければ中庭と緑を囲む

L字型の住まいに出会う。変形の土地と

緑を取り込むという命題から、この形が導かれた。

二人とも県外出身だったが、お子さんが大きくなるにつれ、自然と「長岡に自分たちの家を持つ」と思い始めたという鈴木夫妻。いろいろなビルダーを見て回った後、高田建築事務所に決めたのは「担当してくださった方の感じがとつてもよかったです」とご主人は振り返る。「とても親身になってくれました。質問するたびに、ここなら任せられると思えて」。そんな気持ちの後押ししたのが、一枚のスケッチだった。もし、その土地に家を建てたなら、どんな家ができるのか。担当者が手描きで仕上げたイメージ図に、二人は強く、心を掴まれたという。

土地を仲介したのも高田建築事務所だった。すぐそばに遊歩道のある緑豊かな場所。ただし、土地に面した道路は車の往来が激しく、何より、形は三角だった。果たして家が建つか。素人には不安の多い変形地も、プロにとっては「個人的な住まいができる」と魅力的に映っていたらしい。

「もともと当事務所には『個性ある住まいづくり』という理念があります。お客さま一人一人の個性を活かすのももちろんですが、土地の個性を生かすのもその一つ。三角形の土地を見た時、ほかにはない家ができることを確信しました。そう話すのは、営業設計を担当した清水靖子さん。鈴木家の家づくりは、「土地を読む」ところから始まった。



左 / 道路に立つこの外観。1階は3台分のガレージスペースを開け、上はガルバリウムの壁を立てて、硬く閉じたイメージでまとめた。右 / 階段上から玄関ホールを見下ろす。右下 / 2階にある水回り空間。日差しを白が受け止めて、いっそう明るい雰囲気。

EXAMPLE REPORT

斜め天井にレッドシダーを張ったLDK。ダイニングテーブルの裏には小さな書斎コーナーを設け、リビングスペースとの間にはゆるやかな仕切りとして格子を設けている。



03

三角形の土地に
緑とつながる住まい

株式会社高田建築事務所

道路から見ると、住まいには見えないかもしれない。直方体の箱を白い柱が支え、浮いているかのようだ。トンネルを通り抜ければ、そこは中庭。建物はこの庭をL字型に囲んで立ち、1階にはガレージと子ども部屋だけ、生活空間のほぼすべては2階にまとめられ、ワンフロアで暮らしが完結する間取りだ。

「片や交通量の多い道路、片や緑の多い遊歩道。そんな環境と、三角形という変形の土地、さらに鈴木さんからの要望を考え合わせた時、自然とこの形に落ち着きました」と清水さんは言う。道路に対しては閉じ、中庭と遊歩道に対しては大きく開くデザイン。具体的には外はガルバリウムの壁を立てて硬いデザインにし、内側は遊歩道を囲い込むような形とした上で、LDKには大きな窓を設け、空や緑を取り込むようにした。それは、「遊歩道の景色を見渡しながら暮らしたい。そしてリビングは家族が自然に集まって、楽しく過ごせるような場所にした」という鈴木さんの要望にも応えるものだった。

LDKに入ると、柱を挟んで大きな2つの開口部がある。ゆるやかに下る斜め天井、その先の軒裏にも同じ素材を張ることで、室内と外が一体化し、緑がダイナミックに迫ってくる。この極上の景色を最大限にいかすために詳細設計担当の高坂直人さんは、「設計は余分なことをしないように」心しただという。たとえば形はシンプルに。確かにLDKは単純な四角の大箱で、そこにダイニングキッチンとリビングを並べている。とはいえ、細かな計算も効いていて、掘り込んだリビングは、ソファに座った時、緑の向こうの工場が見えない。視点を操作するこの段差が、単純な大空間の見えない仕切りとなりつつも変化を生んでいると聞けば、なるほどだろう。

「建てた後で『こうすればよかった』とならないように、迷った時には、清水さん、高坂さんだっただろうするかと聞きました。その都度、率直に意見をいただいたのもありがたかった」と鈴木さんは言う。土地を読み、つくり手と住み手が心を開いて話しながらつくった家。「家は3回建てないと言いますが、そんなことはないと言います。歯切れのいい一言が、満足の大きさを物語っていた。

緑を大きく取り込んだ
斜め天井のLDK

遊歩道の緑を大きく取り込んだLDK。斜めの天井と上部のフレームを隠した窓により、景色が存分に楽しめる。リビングスペースは下に掘り込んで、見える景色を操作している



上／遊歩道から見ると、家は中庭を囲んだL字型になっている。2階はどの部屋からも緑が眺められるように設計 下左／ゆったりとした玄関ホール。ダークな色合いを好むご主人に応えて、色や素材を提案したという 下右／玄関まわりには壁にレッドシダーを張って。向こう側には子ども部屋からつながるデッキも設けられている



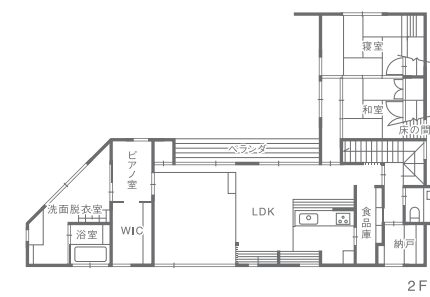
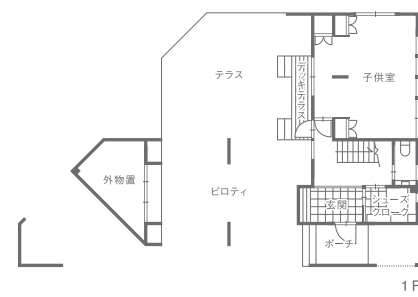
上／ひとつながりのLDKは、リビングスペースとダイニングキッチンレベルを変え、さらに木格子の仕切りを設けることで区切っている。天井はレッドシダー、床はウォールナット 下左／リビングスペースを掘り込むことで、床がベンチ代わりにも使える 下中／2階にある和室。和のアイテムを使いながらも上品に、モダンに仕立てられている 下右／リビングとドア一枚でつながるピアノ室

DATA

敷地面積 / 259.59㎡ (78.52坪)
 延床面積 / 212.95㎡ (64.41坪)
 1階面積 / 50.86㎡ (15.38坪)
 2階面積 / 108.61㎡ (32.85坪)
 車庫面積 / 53.48㎡ (16.17坪)
 工法 / 木造軸組工法
 基礎 / 布基礎
 断熱材 / 内断熱(硬質発泡ウレタン)
 屋根材 / ガルバリウム鋼板

外装材 / ガルバリウム鋼板
 窓業系サイディング、レッドシダー
 内装材 / ビニルクロス、レッドシダー
 床材 / 挽板フローリング(ウォールナット)
 開口部 / アルミ樹脂複合サッシ Low-E複層ガラス
 キッチン / システムキッチン(セラミックトップ)
 バスルーム / システムバス(FRP浴槽)
 竣工年月 / 2017年9月
 家族構成 / 夫婦+子ども1人

LAYOUT



株式会社高田建築事務所

〒940-1105 長岡市摂田屋5-6-22
 Tel 0258-36-1230 Fax 0258-35-8185

詳しい企業情報は「ビルダーズスクエア」をご覧ください。



資料請求をして頂いた方先着30名様にクオカード500円分をプレゼント。※詳細は000ページをご覧ください。スマートフォンからでも資料請求できます。

03

EXAMPLE REPORT

TAKADA KENCHIKU JIMUSHO